

## ねぎ



### ○長ねぎ栽培について

稲刈り後の病害虫防除を行いましょう!!

### ◎べと・さび病

今年べと・さび病が多発した（梅雨時期）圃場の周辺では再発する可能性があります。

気温が徐々に涼しくなると、病害の発生しやすい条件となりますのでご注意ください。

### ◎黒斑・葉枯病（黄色斑紋病斑（マダラ模様））

病害痕や虫の食害痕に黒斑・葉枯病が多発しています。

気温の低下と共に、葉枯病は黄色斑紋病斑（マダラ模様）になるので防除が必要です。

また、収穫遅れが発生を助長します。

### ◎ネギアザミウマ

7／下～8／中の干ばつ・高温で多発傾向となっています。

今後、冷涼になれば虫の発生は減少するものの、全てがいなくなるわけではないので被害はなくなりません。

[防除ポイント]

- ・定期的な薬剤散布（7～10日間隔）
- ・粒剤の併用
- ・同系統薬剤の連続使用を避ける

## きゃべつ



### ○きゃべつ栽培について

収穫作業も終盤となっております。まだ圃場にきゃべつが残っている方は、取り残しの無いよう、1玉でも多くの収穫をお願いいたします。

ここ数年、初夏穫りきゃべつの価格が安定し

ています。きゃべつは重量野菜ではありますが、作業日数が少なく、収穫調整作業も容易に行えます。

兼業農家でも無理なく作業ができる10a程度であれば作付可能だと思います。

次年度、初夏穫りきゃべつの作付けにチャレンジしたい方は営農企画課までご連絡ください。

## アスパラガス



### ○アスパラガス栽培について

促成アスパラでは、株養成の終盤になってきました。株の肥大を促進していくために、亜リン酸資材の散布を行なっていきましょう。

P S ダッシュME ネオやエレマックス赤などを1,000倍に薄めて散布してください。

## みょうが



### ○みょうが栽培について

降霜によって、みょうがの茎葉が枯れてから、草刈機で刈り取り、次年度に向けて幅1m程度通路をとるようにして下さい。

なお、刈り取ったみょうがの茎葉は、ほ場外へ持ち出して処分して下さい。

## 県、市、町の夢プラン事業

### ○県、市、町の夢プラン事業について

次年度夢プラン等を活用して購入したい機械等がありましたら、10月末までJ A 農機課又は市町へ問い合わせして下さい。